

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 古典空間
公演団体名	一般社団法人 義太夫協会

内容
① 義太夫節「浄瑠璃（語り）」の解説 →義太夫節ならではの「語り」の特徴や、人物の演じ分け、情景描写など、実演を交えて説明
② 義太夫節「三味線」の解説 →三味線という楽器の構造、義太夫節における三味線の役割など、演奏を交えて説明
③ 「義太夫節の“笑い”」をやってみよう－基礎編 →数種類の「笑い」の表現をレクチャーし、実際にやってみる
④ 「義太夫節の“笑い”」をやってみよう－応用編 →こどもたちに身近なシーンを設定し、「笑い」の表現を取り入れた台詞を付けて、実際に語ってもらう
⑤ 本番に向けてのお稽古 →本番で披露する演目の一場面の「浄瑠璃」をお稽古
⑥ 本番に向けての床本作成 →本番時に使用する床本（台本）を作成

タイムスケジュール（標準）
12:00 会場入り ～会場下見、準備、打合せ
13:30 ワークショップ開始（前半）
14:30 休憩
14:40 ワークショップ開始（後半）
15:40 終了 ～撤収、本公演打合せ
16:30 退出

派遣者数
6名（指導者3名、補助指導者3名）

学校における事前指導

当方にて義太夫節に関する簡単な説明資料（A4・1枚）を作成、各学校へお送りし、先生方より児童・生徒の皆さまに向けて説明を行なっていただく。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 古典空間
公演団体名	一般社団法人 義太夫協会

演目
①義太夫節『寿式三番叟（ことぶきしきさんばそう）』
②義太夫節って何だろう？～その1 太夫（たゆう）が語る「義太夫」って？／「三味線」って？
③義太夫節って何だろう？～その2 皆さんの「校歌」を聴かせて！⇒「校歌」が義太夫節に変身！
④ワークショップ体験発表コーナー
⑤全員体験コーナー 義太夫節の「大笑い」！ & 全員で「口上（こうじょう）」体験！！
⑥義太夫節を楽しもう！『菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）』 「車曳の段（くるまびきのだん）」より

派遣者数
14名（出演者6名、スタッフ8名）

タイムスケジュール（標準）	
9:30～11:40 搬入・仕込み	(130分)
11:40～12:00 ワークショップ（参加する児童・生徒）のリハーサル （※11:00～教室でのおさらい）	(20分)
12:00～12:30 出演者リハーサル	(30分)
12:30～13:00 昼休み・開演準備	(30分)
13:00～14:20 本番（内休憩10分）	(80分)
14:30～16:00 終演～撤去・退出	(90分)

実施校への協力依頼人員

特になし

演目解説

①義太夫節『寿式三番叟（ことぶきしきさんばそう）』

五穀豊穡（ごこくほうじょう）や国土安穩…つまり、人々の幸せや健康を祈る演目として室町時代に生まれた能の特別な演目「翁」が後に形を変えて人形浄瑠璃や歌舞伎でも人気演目として数多く演じられてきました。おめでたい言葉、そしてスピード感と変化に富んだ曲調…一度聴いたら忘れることはできない名曲です。

②義太夫節って何だろう？～その1

太夫（たゆう）が語る「義太夫」って？／「三味線」って？日本の伝統芸能を代表する歌舞伎や文楽に不可欠の音楽である義太夫節。演者の着けている肩衣（かたぎぬ）や太夫が使用する見台（けんだい）、また三味線のルーツや形、素材など「浄瑠璃（語り）」と「三味線」についてわかりやすく楽しく解説します。

③義太夫節って何だろう？～その2

皆さんの「校歌」を聴かせて！⇒「校歌」が義太夫節に変身！訪問校の「校歌」を全校児童・生徒に歌っていただきます。そして、何とその「校歌」の歌詞を独特の節（メロディー）に乗せて、義太夫節に変身させてしまうコーナーです。
「これが私たちの校歌！？」 斬新な一曲をお届けします。

④ワークショップ体験発表コーナー

代表の児童・生徒に義太夫節の“ユニフォーム”である肩衣（かたぎぬ）を着けて舞台上に上がっていただき、三味線に合わせて、ワークショップから稽古してきた『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」（抜粋）の成果を発表。自分で作った「床本（ゆかほん）」を見ながらの発表となります。

⑤全身体験コーナー

義太夫節の「大笑い」！ & 全員で「口上（こうじょう）」体験！！義太夫節の一大特徴である「大笑い」、さらに「口上」を体験。児童・生徒全員で大きな声を出すコーナー。どんな会場でも最高潮の盛り上がりが見られます。
そして稽古したばかりの「口上」で、出演者と演目を紹介し、児童・生徒の皆さんに最後の演目の幕を開けてもらいます。

⑥義太夫節を楽しもう！『菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかみ）』

「車曳の段（くるまびきのだん）」より

人形浄瑠璃・文楽や歌舞伎でもたびたび上演される名作。

練習を積んで発表してもらった箇所や体験した「大笑い」も出てくる皆さんに親しんでもらった「車曳の段」。三つ子の兄弟の争い、悪者・藤原時平（しへい）の威厳！語り・三味線とも勇壮さが真骨頂である義太夫節の魅力を存分に楽しめる作品です。

「ここ知ってる！」と思ったら大きな声で一緒にどうぞ！

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップでは、数名の児童・生徒に義太夫節『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」の一部を稽古していただき、舞台で使用する「床本」の作成に取り組んでいただきます。また本番では、**本舞台さながらの肩衣を着けた姿で出演者と共演してもらいます。**さらに本番では、会場の全児童・生徒に「大笑い」と「口上」を指導し、**作法に則った「口上」で幕を開けてもらうなど、出演者と会場の児童・生徒とが常に一体となって80分間を過ごせる演出を工夫します。**

児童生徒とのふれあい

- ・上記、演目中の④全員体験コーナーにて、出演者が客席の中に入り、児童・生徒と身近な距離、子どもたちの視線で指導を行う
- ・質問コーナーを設けるなど、直接のコミュニケーションを取る工夫を随所につくる